

令和7年度 富山市グッドアクションカンパニー大賞

エントリー企業 取り組み事例集

主催 富山市／富山商工会議所

目次

- 富山市グッドアクションカンパニー大賞について 2

< エントリー企業（五十音順） >

- 株式会社アイパック 3
- コンチネンタル株式会社 4
- 近藤建設株式会社 5
- 株式会社T H S & E K 6
- 株式会社ホームドライ富山 7

(事例集の作成について承諾された企業のみ掲載しています)

富山市グッドアクションカンパニー大賞について

「富山市グッドアクションカンパニー大賞」は、働きやすい職場環境づくりや、こどもまんなか社会の実現に向けた模範的な取り組み（＝グッドアクション）を推進する市内中小企業を顕彰することで、優良事例の面的な広がりを促進し、地域経済の更なる活性化につなげることを目的に、令和7年度に新たに創設したものです。

本事業を通して、今回エントリーいただいた企業の優れた取り組みが多く市内中小企業にも広がることで、企業や社会の課題解決に寄与することを期待し、本事例集を作成しました。

株式会社アイパック

企業概要

- 【代表者】 東出 悦子
- 【住 所】 富山市中田一丁目113-1
- 【業 種】 技術サービス業
非破壊検査/調査・診断・計測
補修コンサル/IoT開発等
- 【URL】 <https://www.j-ipec.co.jp>



<主な取り組み>

【働きやすい職場環境の構築】

・スマートムーブ制度

通勤時間、現場移動時間の短縮を目的に「直行・直帰」を推奨。距離に応じた「スマートムーブ手当」を支給。無駄な移動時間を減らすことで時間外労働を削減しつつ、削減された時間は資格取得の学習や家族との時間に活用。

・フリーアドレス制とテレワーク

新社屋移転を機にオフィスをフリーアドレス化し、部門を越えたコミュニケーションの活性化と業務効率化を実現。また、テレワークを導入し、クラウドでのデータ保存や Microsoft 365 等のツールを活用することで、「誰でも、どこでも仕事ができる環境」を整備し、育児や介護などの事情があっても、場所にとらわれず柔軟に働き続けることが可能となっている。

・自己啓発支援制度

資格取得に向けた学習を、2名以上のグループで1時間以上行う場合、1回につき2,000円の自己啓発支援手当を支給。また、毎週水曜17時~20時を「自己啓発支援タイム」と設定。会議室を自習室として開放し、1人の学習でも手当を支給。資格試験の受験者や合格者、資格保有数は年々増加傾向となっている。

・メンター制度・コーチング

新入社員1名に対し、同部署・他部署から各1名のメンターを配置し、月1回の面談を実施している。また、リーダー層を対象としたコーチングにより、対話を通じて目標意識を高め、主体的な成長を支援している。

・声かけ運動・改善提案制度

月2回、総務部が「何か気づいたこと、会社に伝えたいこと」を社員からヒアリングし、その内容をグループウェアに匿名投稿。寄せられた意見に対して回答は役員が行うことで、スピード感のある情報共有を図るとともに、安心して意見を出せる風通しの良い職場風土づくりを推進。



コンチネンタル株式会社



企業概要

- 【代表者】 岡田 俊哉
【住 所】 富山市水橋沖172
【業 種】 金属製品製造業
金属板金加工
【URL】 <https://continental-ltd.com>

<主な取り組み>

【働きやすい職場環境の構築】

・やわらかレッジ

ものづくり人材の育成と発掘を目的として、体系的に社員向けの研修を行う5年制の企業内大学「やわらかレッジ」を2024年に設立。単なる研修制度や製造業界で多い「見て覚えろ！」のOJTではなく、新入社員から中堅層まで一貫して成長を支援する仕組みを持ち、独自マニュアルである「教科書」を使用し、複数の講座を提供することで、社員一人ひとりが「誰でも一人前になれる」環境をつくり、若手や女性、未経験者の活躍を可能としている。

・M&A

高い技術力を有しながらも、経営者の高齢化や後継者不在により、存続困難であった企業2社をM&Aで承継することで、事業と雇用の継続を実現。社員は複数の拠点や職種から働き方を選択できるようになり、キャリアの選択肢が拡大（多様な働き方を実現）。

・その他

食堂や休憩室、綺麗なトイレの整備のほか、全館冷暖房を完備するなど、ハード面でも働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

【こどもまんなか社会の実現に向けた取り組み】

・富山オープンファクトリー「トミファ」

同社が発起人として、実行委員長と事務局を務め、ものづくり企業と地域社会の発展を目的に、県内17社の中小製造業企業が集まったものづくりの魅力を発信する地域型オープンファクトリー「トミファ」を設立。

小学生を主対象に工場見学やワークショップを通じて「ものづくりの原体験」を提供することで、富山のものづくりのすごさを知ってもらうなど、将来のキャリア観の拡張に貢献している。

参加企業は自社の魅力を再発見し、発信力を高めることで従業員の誇りやモチベーションの向上にも寄与することができる。

3つの取り組み



近藤建設株式会社

企業概要

- 【代表者】 近藤 裕世
【住 所】 富山市緑町一丁目1-10
【業 種】 建設業
【URL】 <https://www.kondo-kensetsu.jp>



<主な取り組み>

【働きやすい職場環境の構築】

・建築現場における環境改善

耐久性、快適性、通気性、温度調節機能、機能的なポケットを兼ね備えたスタイリッシュな新ユニフォームを導入することで、社員のパフォーマンス向上とモチベーション維持を図っている。

熱中症対策として、現場にドリンク、暑さ指数計測器、緊急対応キットを設置。県内の建築現場では初となるCCUS対応自販機を導入し、安全確保を徹底している。

女性が安心して働けるよう、エアコンと洗面化粧台を完備した女性専用トイレを建築現場に設置。快適な環境を提供し、女性の活躍を支援している。

・全社員を対象としたウェルビーイングアンケートの実施

アンケートで得られた意見をもとに、直ぐに取り組めるものから順に改革を行っている。

➤健康的な食生活をサポートするため、オフィスで手軽に利用できる社食サービス「OFFICE DE YASAI」を導入。

➤人間ドックの費用全額負担などの定期健康診断のサポート強化。

➤資格手当の拡充や、月1回の個別面談を実施し、社員がキャリアの希望や業務上の課題を安心して共有できる体制を整備。

【子どもまんなか社会の実現に向けた取り組み】

社員の子育て支援として、育休や時短勤務制度に加え、看護休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇などの特別休暇を整備し、仕事と家庭の両立を支えている。

子どもたちの運動能力向上を目的としたスポーツ教室「忍者ナイン」へ会社のスペースを提供したり、協賛企業として関わっている「富山ドリームス（リーグH所属）」の冠試合に小中学生を招待して、ハンドボールクリニックやゲームを開催したりすることで地域との繋がりを深めるとともに、子どもたちの健やかな成長と豊かな体験を支援している。



株式会社THS&EK

企業概要

- 【代表者】 柴田 恵子
【住 所】 富山市藤木1831
【業 種】 社会福祉・介護事業
【URL】 <https://ths-ek.holy.jp>



<主な取り組み>

【働きやすい職場環境の構築】

・育児で様々な悩みを抱える子育て世代へのサポート

施設利用者数に対し職員数を多く配置することで、学級閉鎖などによる急な休校、職員の子供が急に病気になった場合など、突発的な休みが入っても補完対応が可能。

ダブルワーク（同業種に限る）を採用しており、土日出勤は月一回程度。勤務時間は8時30分から17時であり、時間外勤務も希望しない限りなし。

子ども同伴で出勤することができるため、学校や保育園が休みのときや、学童などの預け先がない場合でも安心して働くことが出来る。

【こどもまんなか社会の実現に向けた取り組み】

職員の子供は「こどもボランティア」として、施設利用者に対して絵本を読み聞かせたり、一緒に遊んだり交流することで、社会性やボランティア精神を育てることができる。

出勤している職員全員が子どもを気遣って声掛けをしてくれるため、保護者である職員が安心して仕事に集中できる環境となっている。

高校生のボランティアや実習の受け入れを行っており、数人が看護大学に進むなど、学生の将来の進路選択についてもサポートを行っている。

株式会社ホームドライ富山



企業概要

- 【代表者】 松井 仁
- 【住 所】 富山市上千俵町16-2
- 【業 種】 生活関連サービス業
クリーニング
- 【URL】 <https://homedry-toyama.co.jp>

<主な取り組み>

【働きやすい職場環境の構築】

・クリクル（クリーニング×リサイクル）

お客様の不用になった洋服を回収し、工場クリーニングし、洋服を必要とする次のお客様に無償でお譲りするサービス。障がい者施設や事業所の方々に、洋服をハンガーにかけたり畳んだりする仕事などを提供することで、社会の一員としていきいきと活躍できる場を創造している。

日本古来の文化である「おさがり」として、本取組を文化・習慣として築き上げ、子育て世代を応援するとともに、障がい者施設利用者の活躍（雇用）の場の創出やリサイクル活動を通じたSDGsの達成など、「三方よし」の取組を持続的に行っていく。

【こどもまんなか社会の実現に向けた取り組み】

・クツクツ未来応援プロジェクト

令和7年の秋から、全国25社100店舗以上のクリーニング会社の共感を得て、子供の靴に特化したクリクルの活動として始まったプロジェクト。

子どもの成長によって履けなくなり不用となった子ども靴を店舗などで回収し、点検・クリーニングした上で、全国の子供たちにきれいな靴として低価格で販売している。

このプロジェクトによる収益は、社会福祉協議会を通じて地域の「こども食堂」に寄付されている。

子育て世代の親からは「経済的負担の解消になってとても助かる」などと好評である。

